

2024年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年1月11日

上場会社名 株式会社チームスピリット 上場取引所 東
コード番号 4397 URL <https://corp.teamspirit.com/ja-jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 道下 和良
問合せ先責任者 (役職名) 取締役COO (氏名) 虎見 英俊 TEL 03-4577-7510
四半期報告書提出予定日 2024年1月12日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2024年8月期第1四半期の連結業績（2023年9月1日～2023年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年8月期第1四半期	1,043	17.0	△48	—	△49	—	△35	—
2023年8月期第1四半期	891	15.5	△23	—	△24	—	△12	—

(注) 包括利益 2024年8月期第1四半期 △33百万円 (—%) 2023年8月期第1四半期 △11百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年8月期第1四半期	△2.14	—
2023年8月期第1四半期	△0.78	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円		百万円		%
2024年8月期第1四半期	3,643		1,358		37.3
2023年8月期	3,516		1,392		39.6

(参考) 自己資本 2024年8月期第1四半期 1,358百万円 2023年8月期 1,392百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年8月期	—	—	—	—	—
2024年8月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年8月期の連結業績予想（2023年9月1日～2024年8月31日）

2024年8月期の連結業績予想については、事業環境の変化を鑑み、より機動的かつ柔軟な投資を実行いたします。そのため、通期業績予想については、損益に関して合理的な業績予想の算定が困難であるため、売上高のみ参考値として開示いたします。

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	2,120	15.7	△100 ～△80	— —	△100 ～△80	— —	△69 ～△55	— —	△4.22 ～△3.38
通期	4,400 ～4,500	15.5 ～18.1	—	—	—	—	—	—	—

（注1）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

（注2）2024年8月期の第2四半期（累計）の連結業績予想については、事業環境の変化による影響を鑑み、レンジ形式により開示しております。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年8月期1Q	16,408,100株	2023年8月期	16,408,100株
② 期末自己株式数	2024年8月期1Q	5,615株	2023年8月期	4,615株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年8月期1Q	16,402,818株	2023年8月期1Q	16,280,952株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、「すべての人を、創造する人に。」のミッションのもと、勤怠管理、工数管理、経費精算、電子稟議など、従業員が毎日使う社内業務システムを一元化したクラウドサービス「チームスピリット(注1)」を提供しております。

当社グループが提供するサービス領域における短期的な事業環境といたしましては、新型コロナウイルスの感染拡大を契機にして、フルリモートワークやハイブリッドワーク等の多様な働き方への対応が求められるようになったことで、高度な「勤怠管理」への需要は継続的に高い関心を集めております。また、最近では、労働時間の正確な把握だけでなく、仕事の見える化によるチームの活性化や非対面でのマネジメントの最適化を可能にする「工数管理」への需要も高まっています。

中長期的な事業環境といたしましては、人的資本経営に対する関心の高まりを背景に、多様で生産性の高い働き方の実現や、従業員エンゲージメントの向上に注力する企業が増加することが予想されます。また、特にエンタープライズ企業(注2)では、2000年頃に一斉導入されたERP並びに、それに付随したデータのエントリー機能を担う「勤怠管理システム」や「経費精算システム」といったERPのフロントウェアシステムのリプレース需要が高まっています。従来、エンタープライズ企業では、これらのシステムは各社独自の仕様で構築されるケースが一般的でしたが、昨今は更新投資やシステム保守費をかけることなく最先端のサービスを利用することができるSaaS(注3)への関心が高まっています。

このような事業環境の下で、当社グループは、「エンタープライズ市場開拓(注4)」を成長戦略の柱に据えて、製品開発、セールス&マーケティング、サポートの各領域に積極的な投資を行い、エンタープライズ企業を中心に幅広い企業のDX(デジタルトランスフォーメーション)ニーズに応えてまいりました。最近では、「勤怠」や「工数」データといった「ワークログ(業務における活動ログ)」を収集・分析し、それらを人的資本経営に活かすソリューションについても関心が高まってきております。

当第1四半期連結累計期間の経営成績は以下のとおりです。

ライセンス受注状況に関して、当第1四半期連結累計期間における契約ライセンス数の純増は、大手人材派遣会社の受注もあり、18,426ライセンスとなり、累計の契約ライセンス数は475,142ライセンス(前年同期比21.7%増)となりました。ARR(注5)は3,461百万円(同16.5%増)となりました。また、当第1四半期連結累計期間における契約社数の増加は35社となり、累計で1,835社となりました。

当第1四半期連結累計期間における売上高の合計は1,043百万円(同17.0%増)と概ね計画どおりの進捗となりました。売上高の内訳として、ライセンス売上高は854百万円(前年同期比16.2%増)、プロフェッショナルサービス売上高は188百万円(同20.8%増)となりました。営業損失は、展示会への積極的な出展による広告宣伝費の計上、新規事業開発に関連した業務委託費の増加、採用の進展に伴う人件費の増加等により48百万円(前年同四半期は営業損失23百万円)となりました。親会社株主に帰属する四半期純損失は、35百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失12百万円)となりました。

なお、当社グループはSaaS事業の単一事業であるため、事業セグメント別の記載を省略しております。

(注1) チームスピリット:大企業向けの「TeamSpirit EX」及び、幅広い企業規模で利用可能な「TeamSpirit」の2つの製品で構成。

(注2) 企業規模毎の定義は以下のとおり。

名称	定義
エンタープライズ企業	従業員が1,000名以上の企業
ミッド企業	従業員が200～999名の企業
スモール企業	従業員が199名以下の企業

(注3) SaaS:Software as a Serviceの略称で、サービスとしてのソフトウェアを指す。クラウドサーバーにあるソフトウェアを、インターネットを経由して利用できるサービス。

(注4) エンタープライズ市場開拓:エンタープライズ企業におけるERPのフロントウェア(勤怠管理、工数管理、経費精算、ワークフロー等)は、手組みのスクラッチシステムやオンプレ型のパッケージシステムなどの利用が大半であり、それらのシステムをリプレイスしていく戦略。

(注5) ARR:Annual Recurring Revenueの略で、集計基準日時点の「チームスピリット」(関連製品を含む)のライセンス収入から得られる月間収益の合計を12倍したものを。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は3,643百万円となり、前連結会計年度末から126百万円増加しました。

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は3,019百万円となり、前連結会計年度末から144百万円増加しました。これは主に、現金及び預金の増加によるものであります。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産は623百万円となり、前連結会計年度末から17百万円減少しました。これは主に、旧本社の敷金の一部が返還されたことにより減少したものです。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は2,285百万円となり、前連結会計年度末から160百万円増加しました。これは主に、繰延収益の増加によるものであります。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末における固定負債はありません。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は1,358百万円となり、前連結会計年度末から33百万円減少しました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失を計上したことによる利益剰余金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、「チームスピリット」のライセンス契約をベースとしたARRを最重要経営指標としております。

2024年8月期末ARR(ストックベース)目標は、38.9億円～40.3億円(前連結会計年度末比16～20%増)を目指し、エンタープライズセグメント及びミッドセグメントを中心に新規・追加ライセンス受注の最大化と解約率の低下に取り組んでまいります。また、2024年8月期連結業績予想に関しては、上半期終了時点における通期ARR成長率の見通しに応じて、下半期の成長投資方針を判断することとし、利益見通しについては上半期のみの開示としております。

前回公表(2023年10月12日)の2024年8月期第2四半期連結累計期間の業績予想に関して、ARR成長のために必要な成長投資を継続しつつも、経営の効率性をより高めるために一部の施策を見直すことといたしました。その結果、営業利益、経常利益及び親会社に帰属する当期純利益の各損益項目について、前回公表の業績予想を上回る見通しとなりました。なお、売上高に関しては概ね期初計画通りに進捗しており、予想数値の変更はありません。

以上により、2024年8月期第2四半期連結累計期間の連結業績予想は、売上高2,120百万円(前回公表数値から変更なし)、営業損失100～80百万円(前回公表比100～120百万円の赤字縮小)、経常損失100～80百万円(前回公表比100～120百万円の赤字縮小)、親会社株主に帰属する当期純損失69～55百万円(前回公表比58～72百万円の赤字縮小)を見込んでおります。2024年8月期の通期連結業績予想は、前回公表数値から変更なく、売上高4,400～4,500百万円(うちライセンス売上高3,600～3,700百万円)を見込んでおります。

2026年8月期中期経営計画目標「ARR70億円」「営業利益率15%」の達成に向け、成長性と収益性のバランスを心掛け事業展開を進めてまいります。

なお、連結業績予想につきましては、現在入手可能な情報に基づき作成されたものであり、実際の業績は様々な要因により異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,364,904	2,517,536
売掛金及び契約資産	42,656	39,417
前渡金	325,985	349,611
その他	142,526	113,434
貸倒引当金	△801	△414
流動資産合計	2,875,270	3,019,585
固定資産		
有形固定資産	12,639	14,883
投資その他の資産	628,827	609,094
固定資産合計	641,467	623,978
資産合計	3,516,737	3,643,564
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,890	8,046
未払法人税等	25,949	6,151
繰延収益	1,568,939	1,860,471
賞与引当金	57,066	2,008
その他	466,849	408,388
流動負債合計	2,124,695	2,285,067
負債合計	2,124,695	2,285,067
純資産の部		
株主資本		
資本金	833,320	833,320
資本剰余金	823,320	823,320
利益剰余金	△281,113	△316,241
自己株式	△509	△509
株主資本合計	1,375,018	1,339,891
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	17,022	18,604
その他の包括利益累計額合計	17,022	18,604
純資産合計	1,392,041	1,358,496
負債純資産合計	3,516,737	3,643,564

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2022年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2023年11月30日)
売上高	891,437	1,043,117
売上原価	581,546	653,782
売上総利益	309,890	389,334
販売費及び一般管理費	333,693	437,648
営業損失(△)	△23,803	△48,313
営業外収益		
補助金収入	121	112
その他	6	42
営業外収益合計	127	154
営業外費用		
為替差損	1,185	1,070
その他	1	2
営業外費用合計	1,186	1,072
経常損失(△)	△24,862	△49,231
税金等調整前四半期純損失(△)	△24,862	△49,231
法人税、住民税及び事業税	8,674	1,334
法人税等調整額	△20,905	△15,439
法人税等合計	△12,231	△14,104
四半期純損失(△)	△12,631	△35,127
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△12,631	△35,127

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2022年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2023年11月30日)
四半期純損失(△)	△12,631	△35,127
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	1,124	1,581
その他の包括利益合計	1,124	1,581
四半期包括利益	△11,507	△33,545
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△11,507	△33,545

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(譲渡制限付株式報酬としての新株式の発行)

当社は、2024年1月11日開催の取締役会において、譲渡制限付株式報酬として新株式の発行を行うことについて決議いたしました。

1. 発行の目的及び理由

当社は、当社の従業員が、株価変動のメリットとリスクを株主の皆様とより一層共有し、株価上昇及び企業価値向上への貢献意欲を従来以上に高めるため、当社の従業員に対して譲渡制限付株式を割り当てるインセンティブ制度を導入しており、新株式の発行は当該制度に基づくものであります。

2. 発行の概要

(1) 払込期日	2024年2月1日
(2) 発行する株式の種類及び数	普通株式 43,500株
(3) 発行価額	1株につき345円
(4) 発行価額の総額	15,007,500円
(5) 資本組入額	1株につき172.5円
(6) 資本組入額の総額	7,503,750円
(7) 募集又は割当方法	特定譲渡制限付株式を割り当てる方法
(8) 出資の履行方法	金銭報酬債権の現物出資による